

教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方をはたらかせ、見通しを持って観察、実験を行うなどを通して、自然に事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり身に付ける。

(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。【知識及び技能】

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】

(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

学年の目標

第1分野：物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。

第2分野：生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。

評価の観点

月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	自然の中にあふれる生命	生命や地球に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生命や地球に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
5 6	いろいろな生物とその共通点	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見だすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7 9 10	身の回りの物質	身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身の回りの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
11 12	光・音・力による現象	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1 2 3	生きている地球	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法		定期テスト、課題プリントなど	定期テスト、授業の様子、課題プリントなど	ノート、プリント、振り返りシートなどの提出物、授業の様子、定期テスト

学習の進め方

・自然の様々な事物や現象について、実験や観察などを通して追究し、規則性や法則性を探し求める力やそれを活用する力を伸ばすことを意識して学習を進めてきましょう。また、そのような力を伸ばすために自然の事物や現象についての理解や実験や観察等の技能を身につけていきましょう。

・授業で使用したプリント、ノート等を用いて家庭学習で復習を中心とした学習を行いましょう。単元ごとの振り返りを基に、得意分野の向上と苦手分野の克服をより意識して、ワーク等に取り組みしましょう。